

# 萩原町連区地域づくり協議会だより

みんなで考え、知恵を出し、参加する、新しいまちづくり



萩の花

発行日：令和2年11月1日

第83号

発行者：萩原町連区地域づくり協議会 一宮市萩原町萩原字河原崎79(萩原町出張所内) 電話 28-9009

## 資源回収にご理解ご協力を!! ～連区の収入源を守ろう～

報告者：萩原中学校 PTA 会長 加藤貴恭

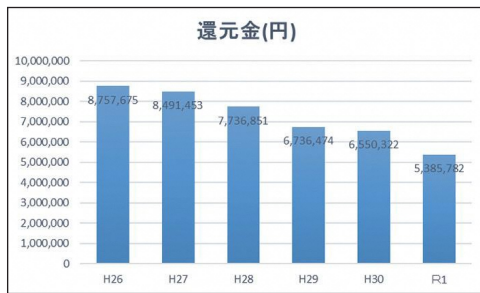
新聞、雑誌、ダンボール、紙パツク、布類、ガラスビンの資源物を連区の資源回収日に指定場所へ出していただきますと、市から回収量に応じて還元金が連区に交付されます。

その還元金は、町内会や子ども会などの地域団体にとって大きな収入源となります。

萩原中学校 PTA においても学校の環境整備や部活動に活用をしています。今年は、部活動はもちろんのことですが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校の環境整備に還元金が大いに役立ちました。

しかし近年、常時回収可能な場所が増え、連区による資源回収量が減少し地域団体にとっては大きな痛手となっています。

萩原町連区は、基本毎月、第2火曜日が資源回収日ですから、今回は11月10日(火)です。萩原町連区の活性化のために皆さんのご理解ご協力をお願いいたします。



H26 から R1 の 5 年間で約 337 万円の減少



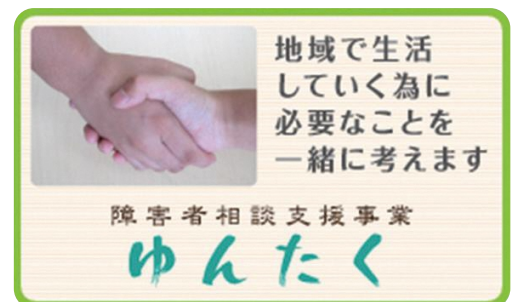
配布用の啓発ポケットティッシュ表紙

## 一宮市障害者相談支援センターをご存じですか

報告者：一宮市障害者相談支援センター ゆんたく 所長 夏井幸広

障害のある方の生活や福祉についての相談窓口です。市内には、一宮市から委託を受けた相談支援センターが6か所あり、お住まいの地区によって担当するセンターが決まっています。「一宮市障害者相談支援センターゆんたく」は、萩原町・起・三条・小信中島・大徳・朝日・開明の連区を担当しています。

在宅や地域で生活されている障害のある方やその家族・支援者の方などから電話・来所・訪問により相談をお受けします。まずはお気軽に電話などでお問い合わせください。



社会福祉法人 榎の木福祉会 ホームページより

住所：一宮市大和町馬引字郷裏 42 電話：0586-64-5882

(月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 12月29日から1月3日までと祝日は除きます。)

# 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 特集

## はじめに

萩原町のみなさまには、日頃から地域づくり協議会の活動にご協力いただき厚く御礼申し上げます。また、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、さまざまな影響を受けていることと存じます。心よりお見舞い申し上げます。

当協議会も、新型コロナウイルス感染症の拡大により、本年度予定しておりましたさまざまな行事が軒並み中止となり、大きな影響が生じております。

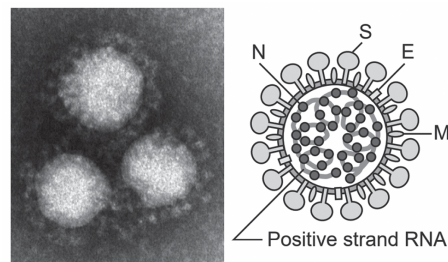
そこで、本号は、このように、地域にも大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症について特集いたします。感染症を知り、克服していくための糧としてお役立ていただければ幸いです。

## 新型コロナウイルスとは？

新型コロナウイルスは、SARS(サーズ) やMARS(マーズ) と同じコロナウイルスの仲間です。コロナウイルスはヒトや動物の間で広く感染症を引き起こすウイルスですが、今回のウイルスは既知のウイルスと一致しない新型のコロナウイルスです。

ヒトに感染するコロナウイルスは、既に 6 種類が知られています。そのうち 4 種類は、一般的な風邪の原因となるウイルスで、ヒトに日常的に感染し、風邪の原因の 10 ~ 15% (流行期は 35%) を占めるといわれています。残りの 2 種類は、重度の肺炎の原因となるSARS(重症急性呼吸器症候群コロナウイルス) とMARS(中東呼吸器症候群コロナウイルス) です。

今回見つかった新型コロナウイルスは、これら 6 種類に当てはまらない新しい型です。ちなみにコロナウイルスを顕微鏡で見ると、表面に突起がみられます。これが王冠に似ていることから、ギリシャ語で王冠を表す「コロナ」にちなんで名づけられました。



## 新型コロナウイルスの特徴

感染経路は、飛沫感染や接触感染により感染すると考えられています。

新型コロナウイルスに感染しても、人によってはほとんど症状が出ないか軽い症状が出るだけで済みますが、中には重症化して死亡する方もいます。症状としては、**発熱、全身倦怠感、乾いた咳、呼吸困難(入院患者など重症例)**が主なものですが、そのほかにも、のどの痛み、鼻水、嘔吐や下痢など消化器系の症状、筋肉痛などが出ることもあるようです。

潜伏期間は **1 ~ 14 日間とされています**。一般的に、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合は、症状が最も強く現れる時期に、他者へウイルスを感染させる可能性も最も高くなると考えられています。しかし、新型コロナウイルスでは、**症状が明らかになる前から、感染が広がるおそれがある**との専門家の指摘や研究結果も示されており、例えば、台湾における研究では、新型コロナウイルス感染症は、発症前も含めて、発症前後の時期に最も感染力が高いとの報告がされています。

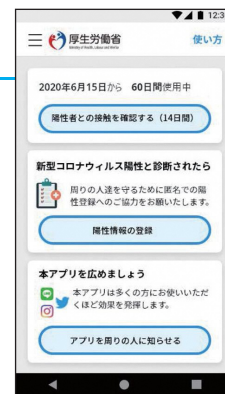


## 新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) の紹介

厚生労働省による**新型コロナウイルス接触確認アプリ(略称:COCOA)**が提供されています。このアプリは、利用者本人の同意を前提に、スマホの近接通信機能(Bluetooth)を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触(半径1m以内に15分以上)した可能性について、通知を受け取ることができるアプリです。

利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながる事が期待されます。

みなさんも是非インストールしてご利用ください。



※画面イメージ

## 新型コロナウイルス感染症に罹ったかな？と思ったとき

次の症状が出たときには医療機関に直接行かずに帰国者・接触者相談センターへ連絡してください。

- ①風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続く方  
(解熱剤を飲み続けなければならない方も同様)
- ②強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方
- ③発熱・せき・息切れがあり、次のいずれかに該当する方
  - ・新型コロナウイルス感染症の患者さんと濃厚な接触があった方
  - ・14日以内に新型コロナウイルス感染症の流行地域から帰国した方  
または帰国した方と濃厚な接触があった方

次の方は、上記症状が2日程度続いたらセンターに連絡

- ・高齢者 ・透析患者 ・妊婦
- ・糖尿病 ・心不全 ・呼吸器疾患がある
- ・免疫抑制剤 ・抗がん剤なども用いている



### <帰国者・接触者相談センターに相談後の流れ>

帰国者・接触者相談センター：  
0586-72-1699 (一宮保健所)

帰国者・接触者相談センターに相談

COVID-19かもしれないので、  
医者に見てもらった方がいいです。

医者に見てもらった方がいいです

検査センターなど

指定された医療機関

検査実施

陽性の場合

病院やホテルで治します  
よくなるまで、また相談してください

陰性の場合

自分の家でよくなるのを待ちます

よくなるまで、また相談してください

## 感染症の更なる拡大を避けるために

新型コロナウイルスは、現在も世界中で感染の拡大が続いています。感染の拡大を防ぐために、手洗い等の衛生的な  
防止対策のほか、次のような点にも十分に注意して克服していきましょう。

### ①不安と恐れに振り回されない

私たちは、目に見えないウイルスに対して不安や恐れを抱きがちです。しかし、この不安や恐れは私たちの気づく力、  
聴く力、自分を支える力を弱めてしまい、冷静な対応ができなくなることもあります。各自が冷静になって自分ができる  
ことを考えて実行していきましょう。

### ②嫌悪・偏見・差別をしない

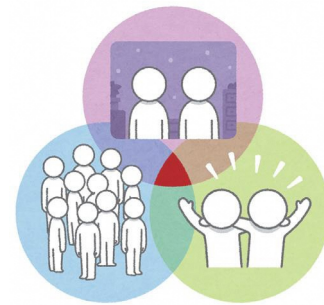
私たちは、ウイルス感染に関わる人や対象を日常生活から遠ざけたり差別したりしがちです。しかし、そうしたこと  
により、人と人との信頼関係や社会的つながりが壊されてしまいます。私たちはみなさんそれぞれの場所で感染拡大防  
止のため頑張っています。そういった人々に対しねぎらい、敬意を払いましょう。

新型コロナウイルスとの戦いは長期戦の様相を呈してきています。それぞれの立場でできることを行い、みんながひ  
とつになって感染拡大防止に努めましょう。

## 新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式

国の新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言（5月4日）において、新型コロナウイルス感染症を想定した「新しい生活様式」の実践例が示されました。

皆様におかれましては、日常生活の中で実践していただいている、手洗い、手指消毒、咳エチケットの徹底、こまめな換気・身体的距離の確保、「3つの密」の回避、といった今までの感染症対策に加えて、ご自身の生活に合った「新しい生活様式」の実践にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



「新しい生活様式」の実践例を以下に記載します。

### (1) 一人ひとりの基本的感染対策

#### 感染防止の3つの基本

①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

- ・人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
  - ・会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
  - ・外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
  - ・家に帰ったらまず手や顔を洗う。人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
  - ・手洗いは20秒から30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。
- ※高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

#### 移動に関する感染対策

- ・感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- ・発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- ・地域の感染状況に注意する。

### (2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- ・まめに手洗い・手指消毒 ・咳エチケットの徹底 ・こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に）
- ・身体的距離の確保 ・「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- ・一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- ・毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

### (3) 日常生活の各場面別の生活様式

#### 買い物

- ・通販も利用 ・1人または少人数ですいた時間に ・電子決済の利用 ・計画をたてて素早く済ます
- ・サンプルなど展示品への接触は控えめに ・レジに並ぶときは、前後にスペース

#### 娯楽、スポーツ等

- ・公園はすいた時間、場所を選ぶ ・筋トレやヨガは、十分に人との間隔を もしくは自宅で動画を活用
- ・ジョギングは少人数で ・すれ違うときは距離をとるマナー ・予約制を利用してゆったりと
- ・狭い部屋での長居は無用 ・歌や応援は、十分な距離かオンライン

#### 公共交通機関の利用

- ・会話は控えめに ・混んでいる時間帯は避けて ・徒歩や自転車利用も併用する

#### 食事

- ・持ち帰りや出前、デリバリーも ・屋外空間で気持ちよく ・大皿は避けて、料理は個々に
- ・対面ではなく横並びで座ろう ・料理に集中、おしゃべりは控えめに ・お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

#### イベント等への参加

- ・接触確認アプリ（COCOA）の活用を ・発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

### (4) 働き方の新しいスタイル

- ・テレワークやローテーション勤務 ・時差通勤でゆったりと ・オフィスはひろびろと
- ・会議はオンライン ・対面での打合せは換気とマスク

次号は3月1日号(予定)です。

まちづくりに関するご意見をおまちしております。FAX68-1222 広報広聴部会宛